

**魚沼市**  
**在宅介護実態調査報告書**  
**【概要版】**

# 目 次

1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
<b>基本属性.....</b>	<b>2</b>
性別.....	2
年齢.....	2
認定区分（二次判定結果）.....	3
世帯類型.....	3
1. 施設等検討の状況.....	4
2. 介護者が不安に感じる介護.....	5
3. 要介護度別 主な介護者が行っている介護.....	6
4. サービス等の組み合わせ.....	7
5. サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況の関係.....	8
6. 就労継続と介護者が不安に感じる介護.....	10
7. 就労状況別の介護のための働き方の調整.....	11
8. 保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス.....	12
9. 要介護度別×在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス.....	13
10. 世帯類型別の家族等による介護の頻度.....	14
11. 世帯類型別・要介護度別の訪問診療の利用の有無.....	14

## 1. 調査目的

介護保険サービスの利用状況や家族等介護者の就労状況を踏まえた、第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）を策定し、在宅生活の継続や介護者等の就労継続の実現に向けた介護サービス基盤の充実を図ることを目的として実施しました。

## 2. 調査方法

- 調査対象者：在宅で生活している65歳以上の要支援、要介護認定者（施設入所者等を除く）
- 調査期間：令和5年1月～令和5年3月
- 調査方法：介護専門員・居宅介護支援事業による聞き取り調査

## 3. 回収結果

- 調査対象者数：544部
- 回収数（回収率）：544部（100.0%）
- 有効回答数：544部
- 認定データ調査数：544部

※ アンケート調査結果と認定・給付データを突合し、集計を行っているため、n値に変動があります。

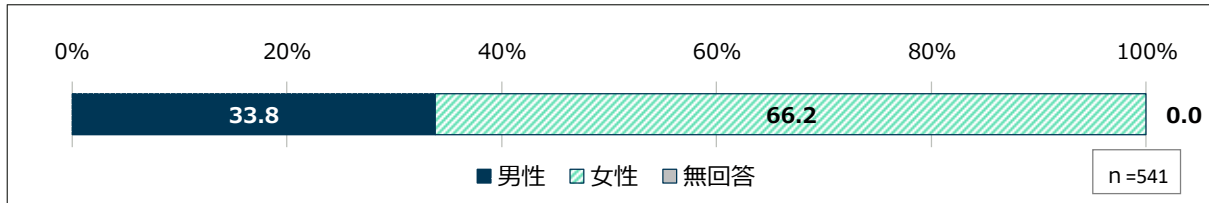
## 4. 報告書の見方

- ① 報告書中の「n」の数値は、設問への該当者数を表します。
  - ② 回答の比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため、回答率の合計が100.0%にならない場合があります。
  - ③ 回答の比率（%）は、その設問の該当者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、回答率の合計が100.0%を超えることがあります。
  - ④ 集計結果については、基本属性等が不明なものがあるため、集計によりn値（回答者数）が一致しない場合があります。
  - ⑤ 設問により、認定区分別、世帯類型別等のクロス集計結果のグラフを表記しています。クロス集計結果については、無回答を除いて集計しているため、単純集計の数値とは一致しないことがあります。
- ※ クロスグラフの該当者数「n」が少数の場合は、その傾向に注意が必要です。

## 基本属性

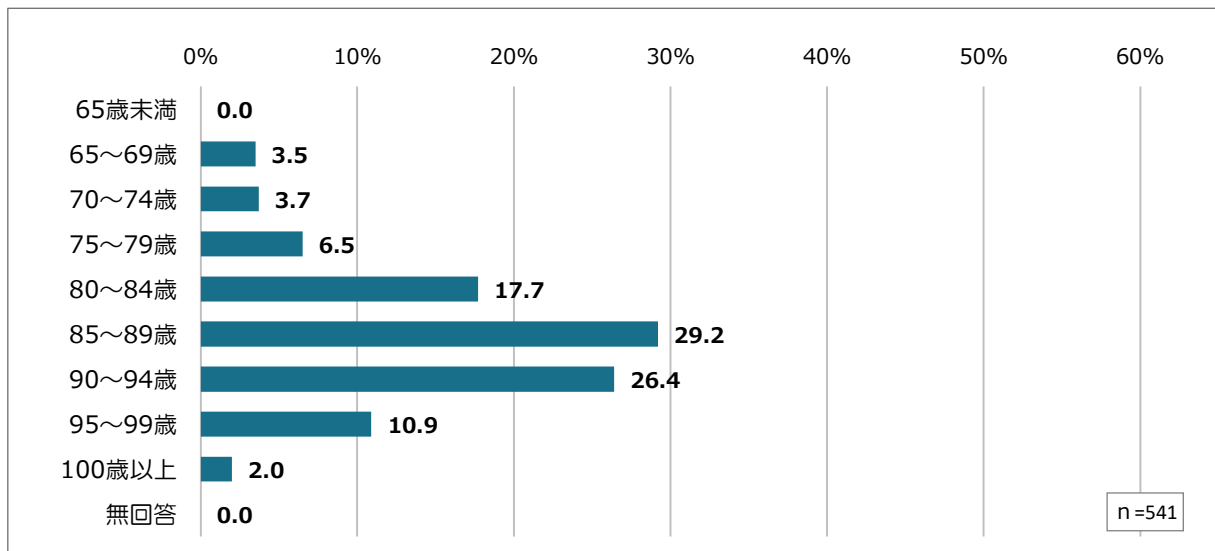
### ■ 性別

「男性」が33.8%、「女性」が66.2%となっています。



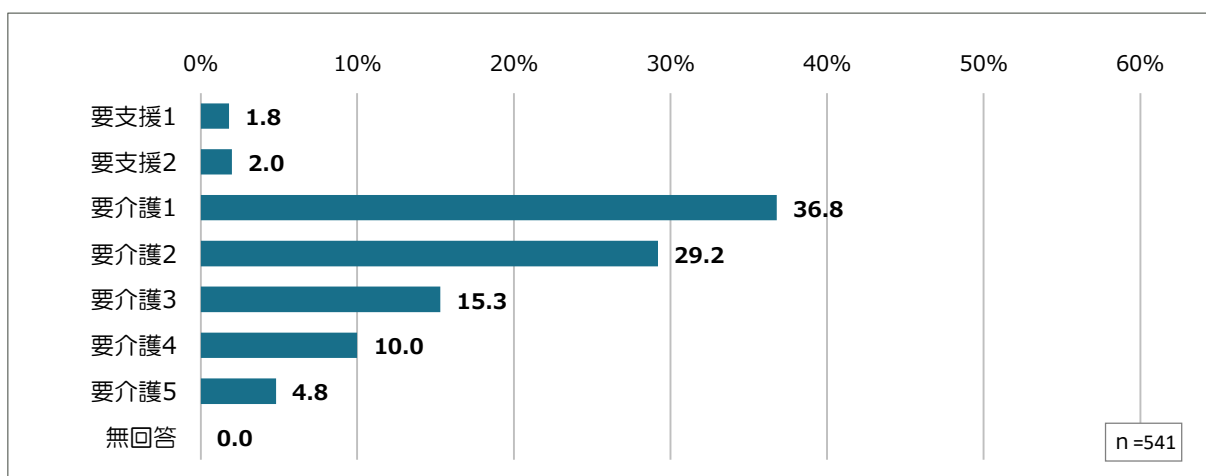
### ■ 年齢

「85～89歳」が29.2%と最も高くなっています。年齢を2区分にすると、65～74歳が7.2%、75歳以上が92.7%となっています。



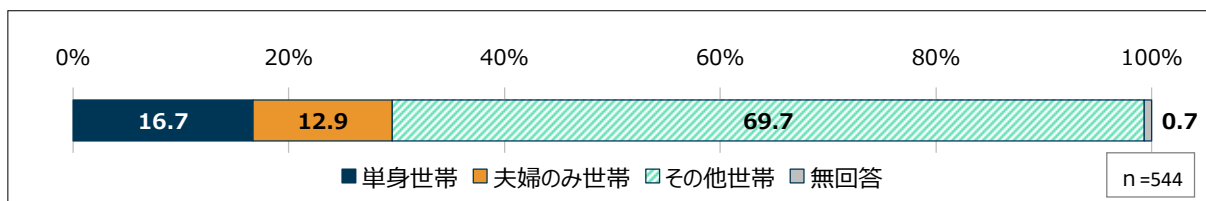
### ■ 認定区分（二次判定結果）

「要介護1」が36.8%と最も高く、次いで「要介護2」が29.2%となっています。要介護3以上は30.1%となっています。



### ■ 世帯類型

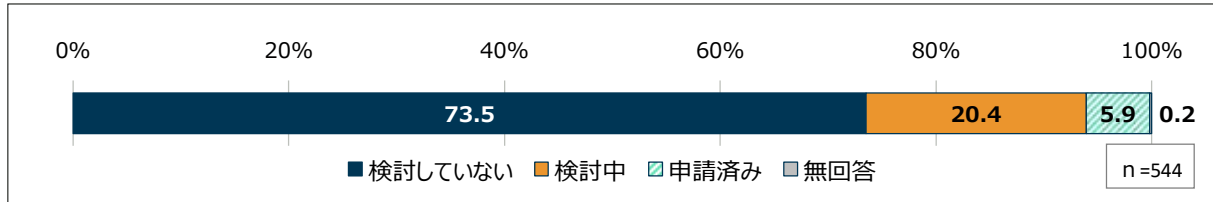
「単身世帯」が16.7%、「夫婦のみ世帯」が12.9%で、最も割合の高い「その他世帯」は69.7%となっています。



## 1. 施設等検討の状況

「検討していない」が73.5%、「検討中」が20.4%で「申請済み」は5.9%となっています。

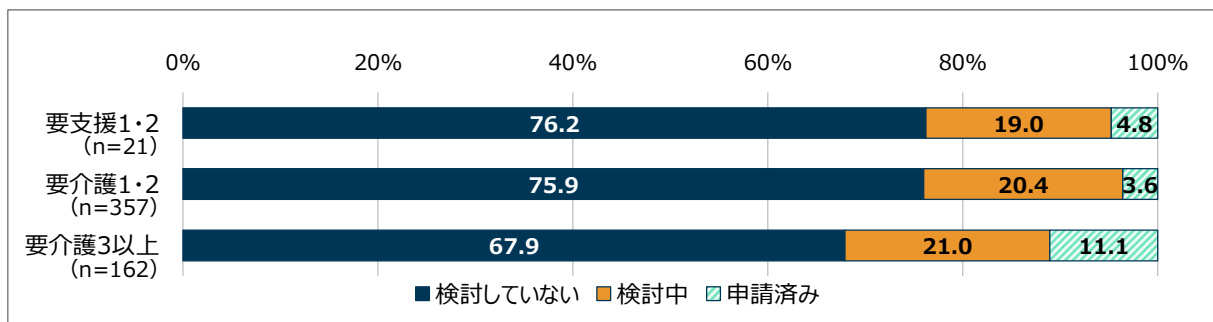
### 施設等検討の状況



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

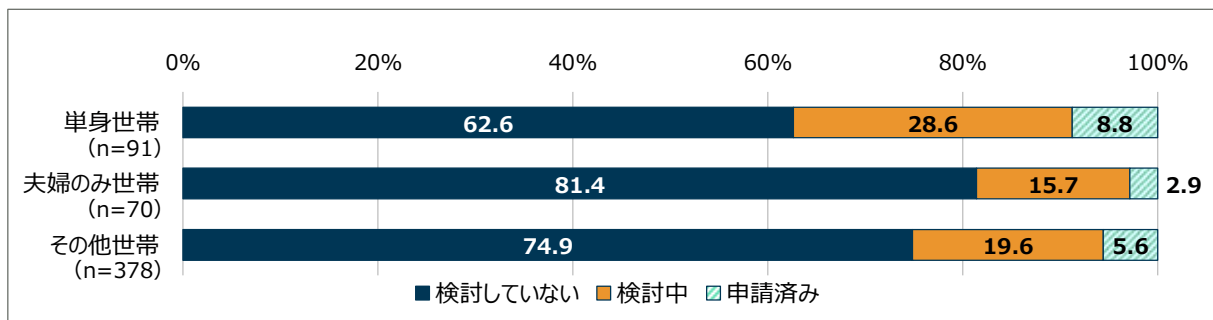
施設等への入所・入居の検討状況について、要介護度（二次判定結果）別にみると、要介護度の重度化に伴い「検討していない」割合が低くなる傾向がみられます。「申請済み」の割合は要介護3以上で最も高く、11.1%となっています。

### 要介護度別 施設等検討の状況



世帯類型別にみると、夫婦のみ世帯は「検討していない」割合が最も高く、「申請済み」の割合が最も低くなっています。単身世帯は、「検討していない」割合が最も低く、「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

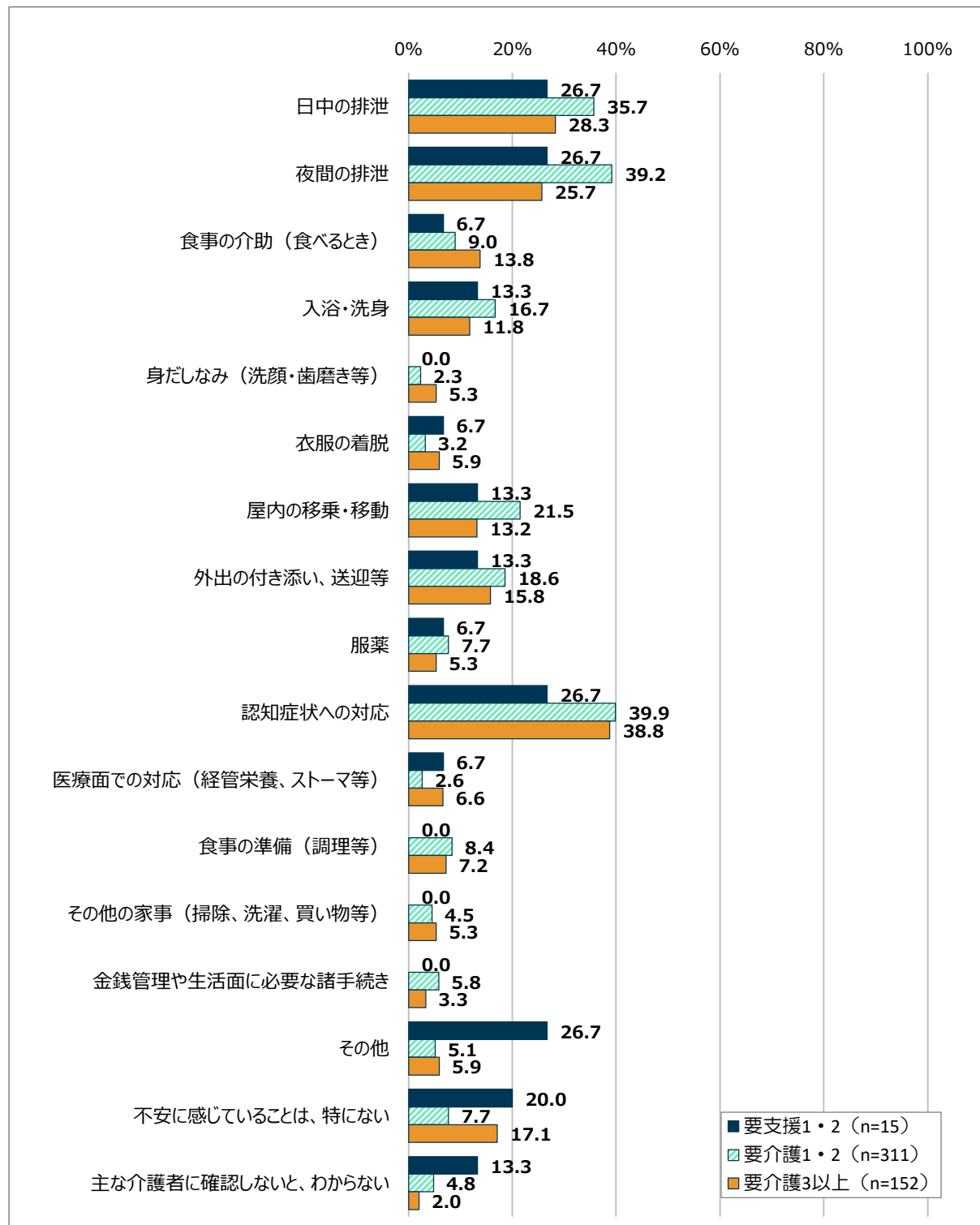
### 世帯類型別 施設等検討の状況



## 2. 介護者が不安に感じる介護

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、要介護度別にみると、「認知症状への対応」「夜間の排泄」「日中の排泄」については、要介護度にかかわらず割合が高くなっていますが、特に要介護3以上で割合が高いのは「認知症状への対応」となっています。「不安に感じていることは、特にない」割合は、最も低い要介護1・2では7.7%となっていますが、最も高い要支援1・2では20.0%となっています。

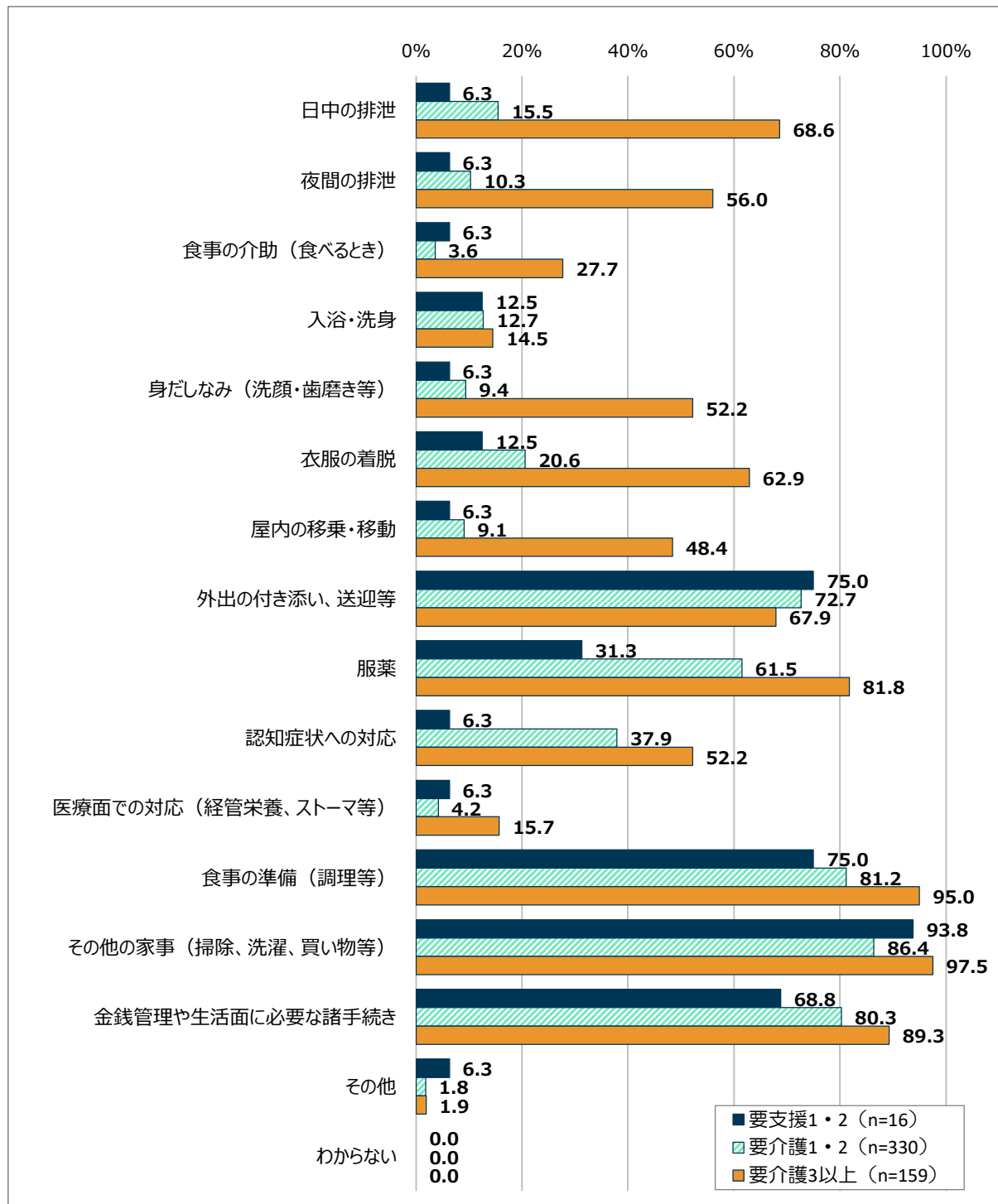
### 要介護度別 介護者が不安に感じる介護



### 3. 要介護度別 主な介護者が行っている介護

要介護度別に主な介護者が「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を行っている割合をみると、要支援1・2は6.3%、要介護1・2は4.2%、要介護3以上では15.7%となっています。

#### 要介護度別 主な介護者が行っている介護





#### 4. サービス等の組み合わせ

介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着眼した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しました。介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

##### サービス利用の分析に用いた用語の定義

用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

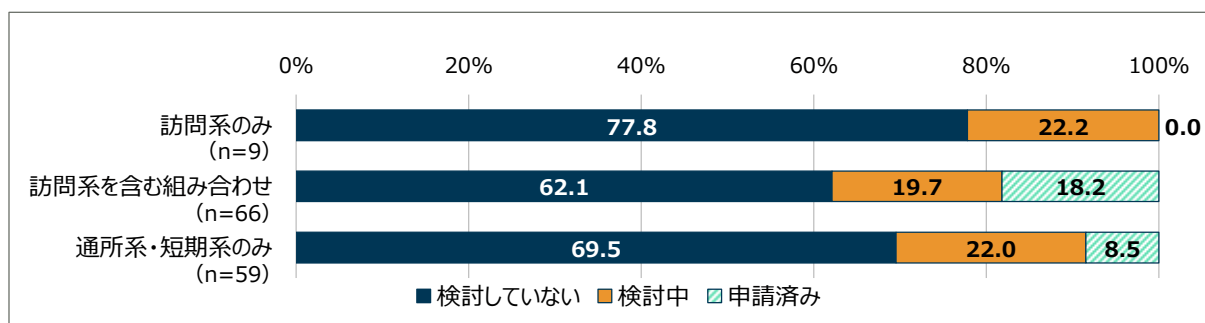
##### サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義

用語	定義
未利用	・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

## 5. サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況の関係

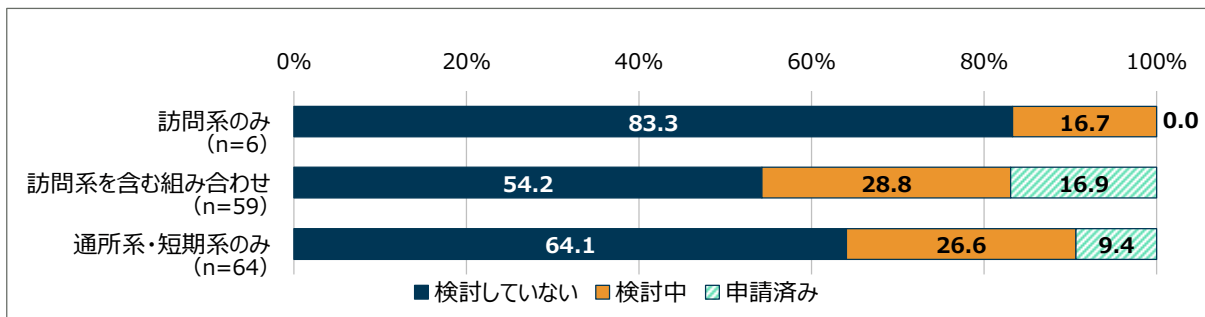
要介護3以上について、サービス利用の組み合わせ別に施設等検討の状況を見ると、訪問系のサービスのみ利用している群で「検討していない」割合が高く、「申請済み」の割合は0.0%となっています。一方で、訪問系を含む組み合わせでは、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が低く、「申請済み」の割合が高くなっています。

### サービス利用の組み合わせ別 施設等検討の状況（要介護3以上）



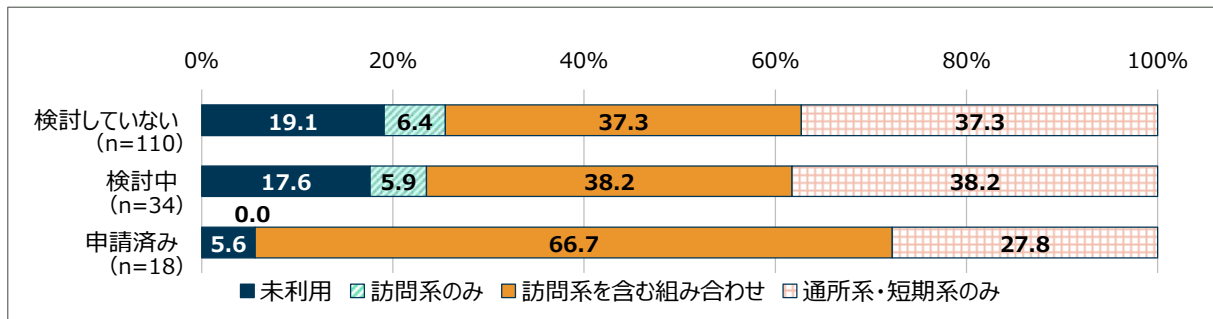
認知症自立度Ⅲ以上について、サービス利用の組み合わせ別に施設等検討の状況を見ると、訪問系のサービスのみ利用している群で「検討していない」割合が高く、「申請済み」の割合は0.0%となっています。一方で、訪問系を含む組み合わせでは、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が低く、「申請済み」の割合が高くなっています。

### サービス利用の組み合わせ別 施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）



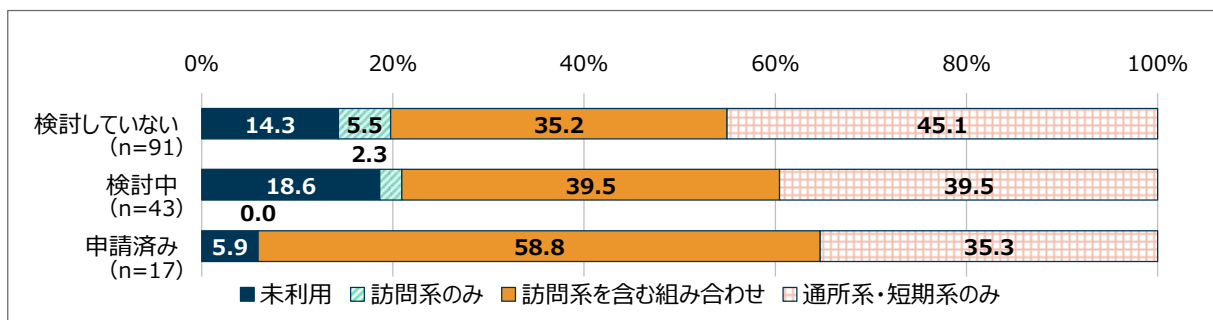
要介護3以上について、施設等検討の状況別にサービス利用の組み合わせをみると、施設等への入所・入居を申請済みの群は、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。

### 施設等検討の状況別 サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）



認知症自立度Ⅲ以上について、施設等検討の状況別にサービス利用の組み合わせをみると、施設等への入所・入居を検討していないは「通所系・短期系のみ」の割合が高くなっています。一方で、施設等への入所・入居を申請済みの群は、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。

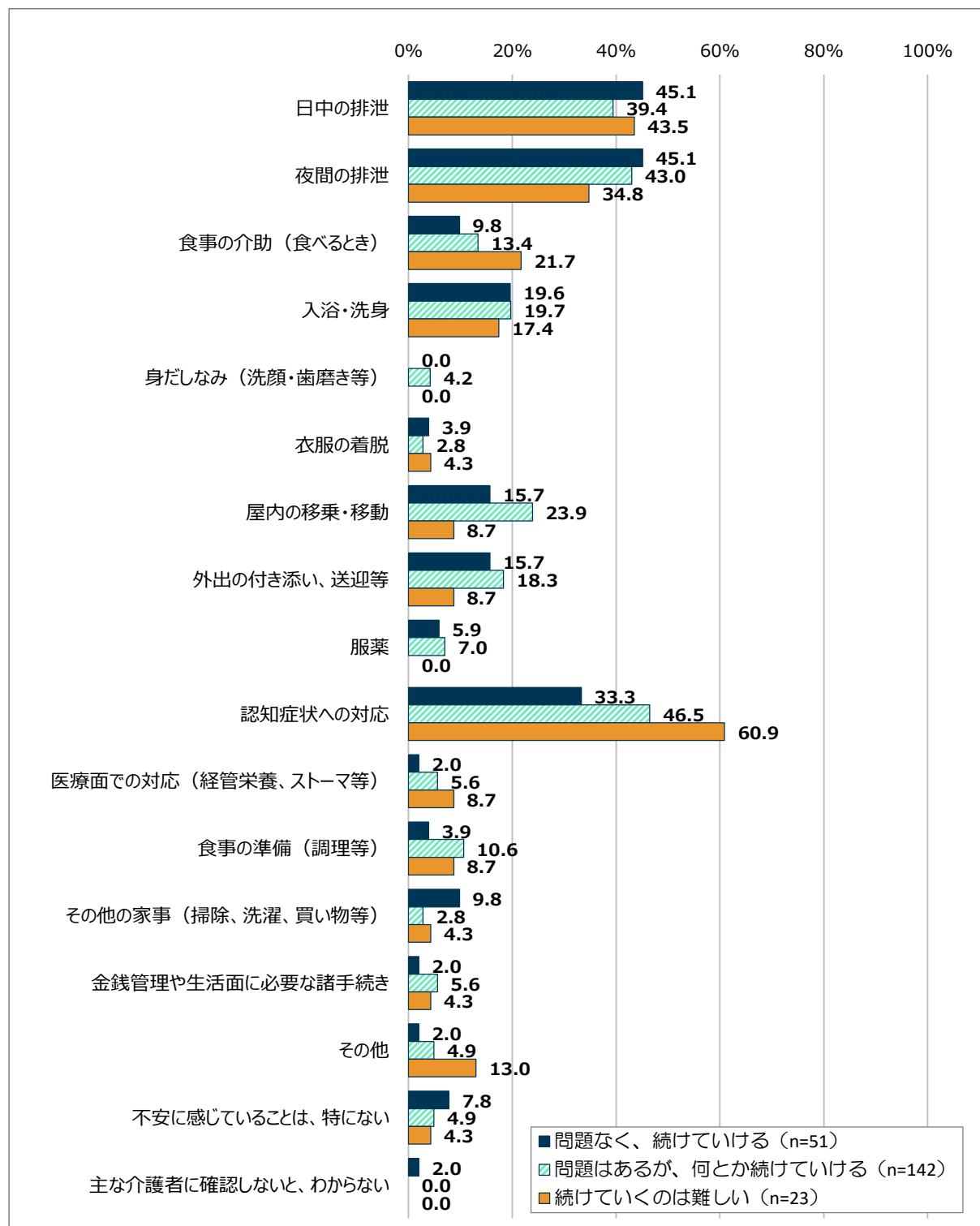
### 施設等検討の状況別 サービス利用の組み合わせ（認知症自立度Ⅲ以上）



## 6. 就労継続と介護者が不安に感じる介護

就労している介護者が不安に感じている介護について、就労継続見込み別にみると、就労の継続が困難と考えている群は「認知症状への対応」が60.9%と最も高く、次いで「日中の排泄」が43.5%、「夜間の排泄」が34.8%となっています。問題なく続けていけると考えている群でも「不安に感じることは、特にない」割合は7.8%で、「日中の排泄」「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

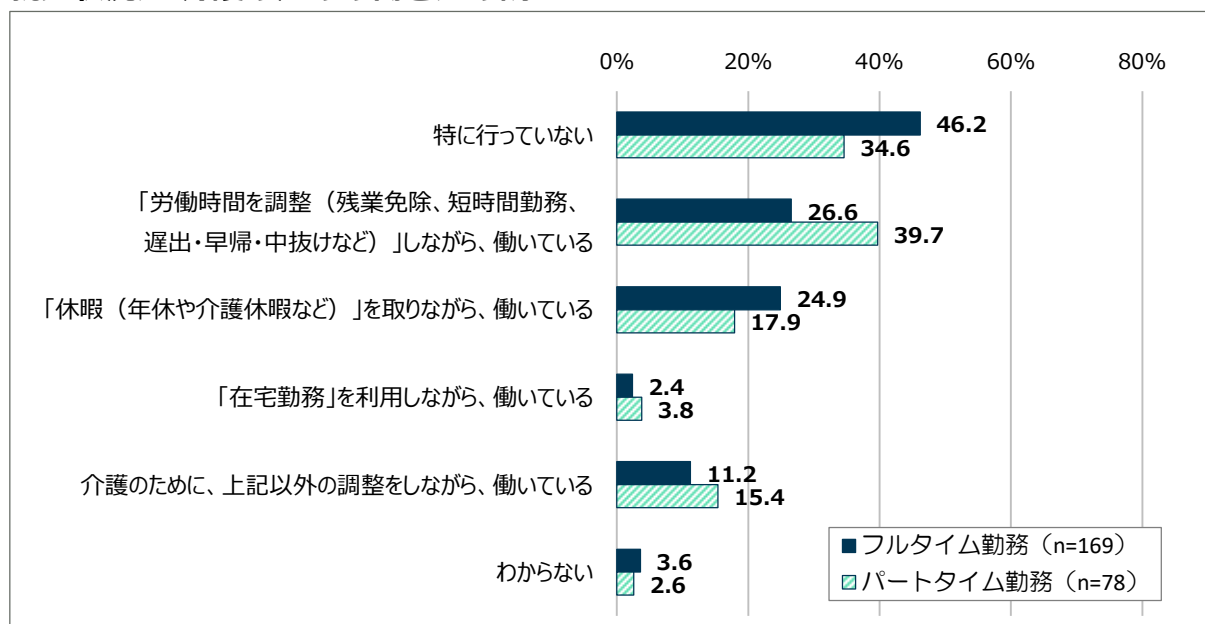
### 就労継続見込み別 介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



## 7. 就労状況別の介護のための働き方の調整

介護のための働き方の調整について就労状況別にみると、フルタイム勤務、パートタイム勤務ともに「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」の割合が高くなってはいますが、パートタイム勤務が39.7%なのに対しフルタイム勤務は26.6%となっています。「特に行っていない」割合はフルタイム勤務は46.2%、パートタイム勤務は34.6%となっています。

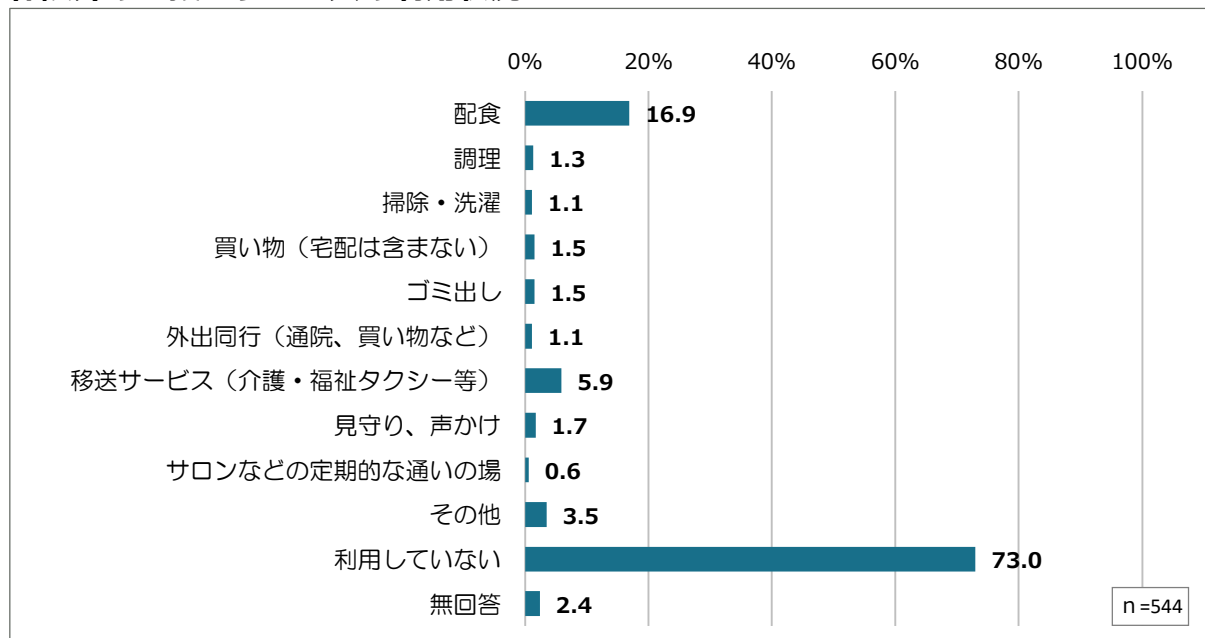
### 就労状況別 介護のための働き方の調整



## 8. 保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

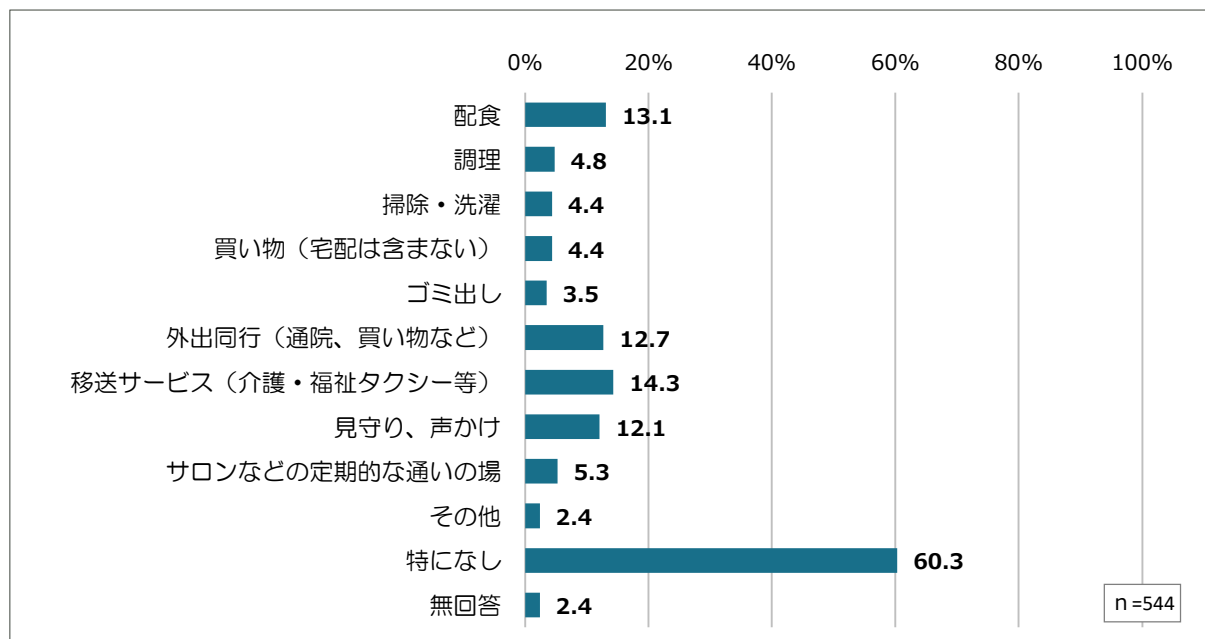
利用している保険外の支援・サービスは「配食」が16.9%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.9%などとなっています。一方で、「利用していない」は73.0%となっています。

### 保険外の支援・サービスの利用状況



在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.3%と最も高く、次いで「配食」が13.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が12.7%で、外出に係る支援・サービスの割合が高くなっています。「特になし」は60.3%となっています。

### 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

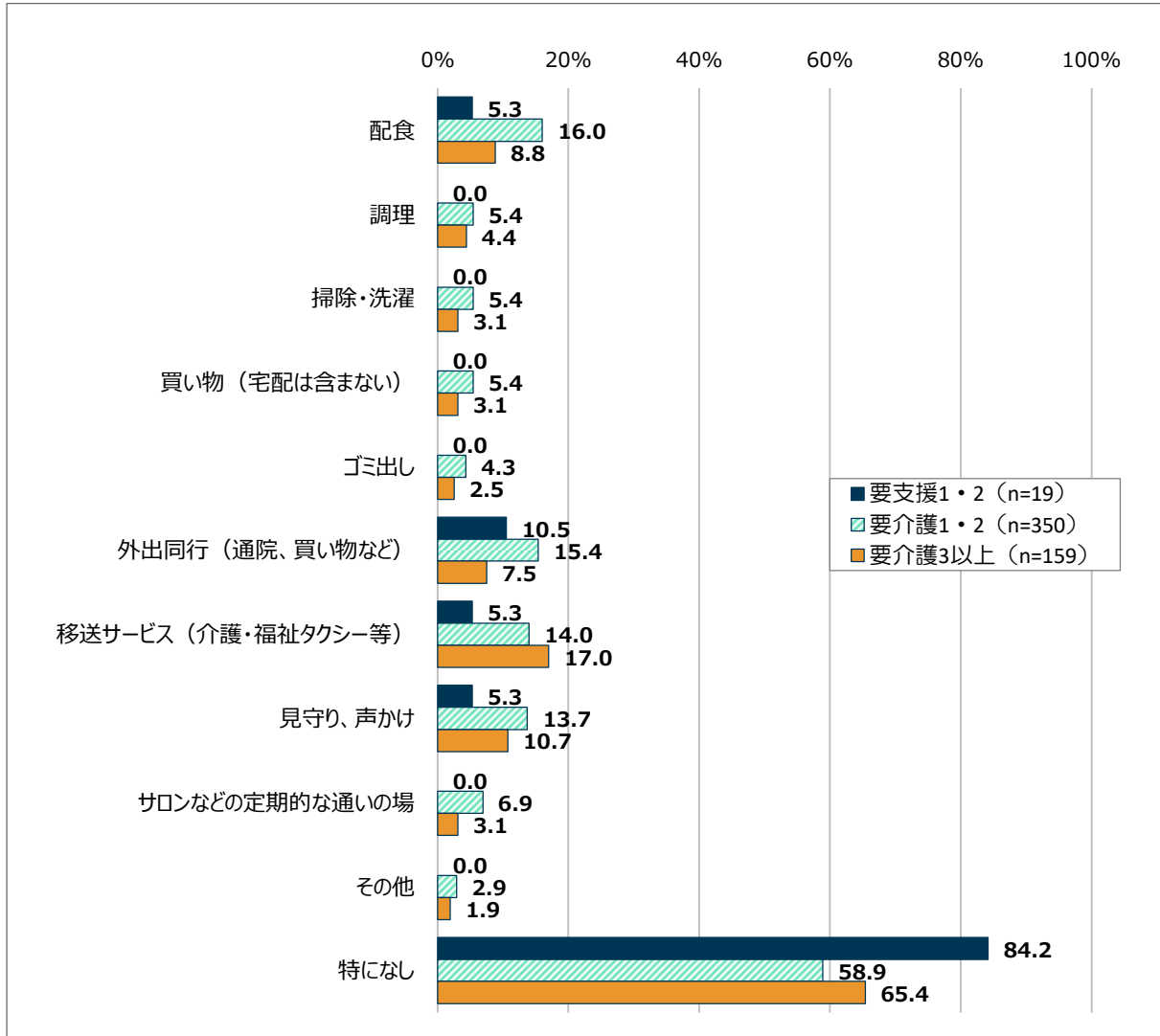


※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

## 9. 要介護度別×在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、要介護度別にみると、要介護度の重度化に伴い「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。要支援1・2では「特になし」の割合が高く、84.2%となっています。

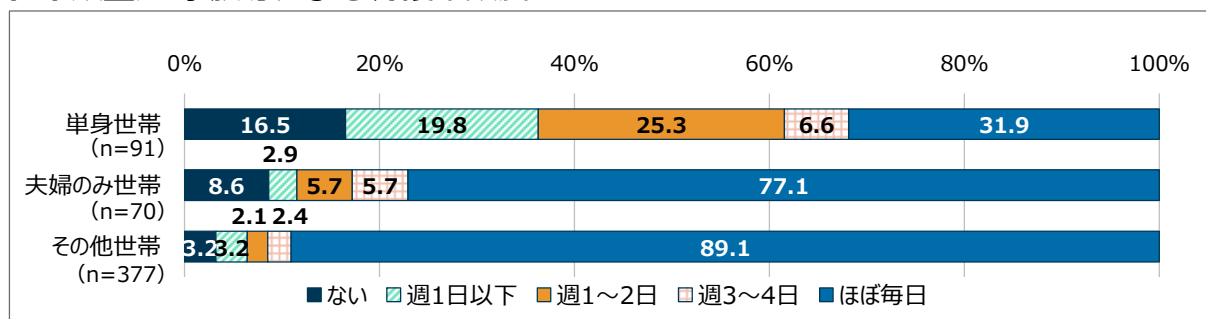
### 要介護度別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



## 10. 世帯類型別の家族等による介護の頻度

世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、すべての世帯類型で「ほぼ毎日」の割合が最も高くなっていますが、単身世帯は31.9%、夫婦のみ世帯は77.1%で、その他世帯は89.1%となっています。

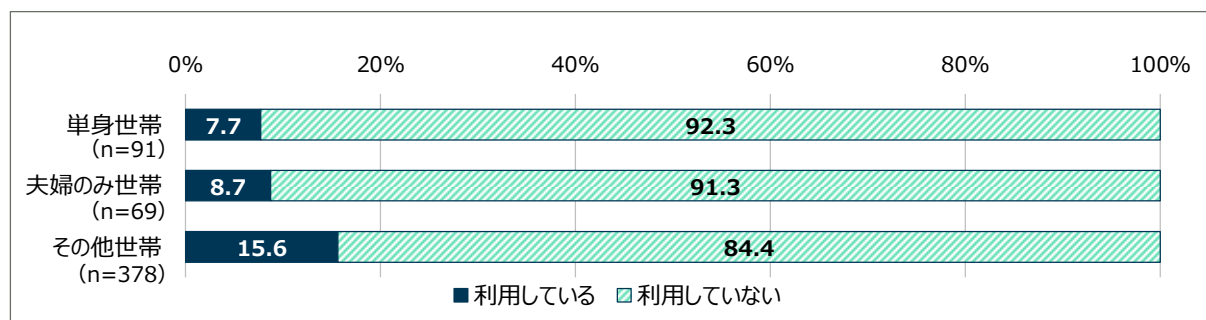
### 世帯類型別 家族等による介護の頻度



## 11. 世帯類型別・要介護度別の訪問診療の利用の有無

世帯類型別に訪問診療の利用の有無をみると、その他世帯で「利用している」割合が高くなっています。

### 世帯類型別 訪問診療の利用有無



要介護度別に訪問診療の利用の有無をみると、数値にばらつきはありますが、要介護度の重度化に伴い「利用している」割合が高くなる傾向がみられます。

### 要介護度別 訪問診療の利用有無

